授業科目名	ソーシャルワーク実習Ⅱ	単位数	1
担当教員名	堀越　由紀子・神原　由佳・砂田　淳一郎・平　雅夫・矢原　絵理	担当形態	オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワーク実習について解説する。		

「学位授与の方針」との関係

本科目は「ソーシャルワーク実習」を通して、様々な問題を抱える人や社会に対し「人や人」「人を環境」を繋げ、効果的な解決策を考えていく。このプロセスを通すことにより、自律的な課題探求能力を身に着けていくことを目的とする。

授業の到達目標及びテーマ

（１）ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。

（２）支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。

（３）生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行う。

（４）施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解する。

（５）総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

授業の概要

具体的な実践現場における「ソーシャルワーク実習」を実施し、相談援助の現場での具体的な業務内容を体験する。同時に、そこで実施される「支援」の内容について理解し、自身の援助技法として身につけることができるよう学ぶことを目的とする。実習施設にて、実習時間 240 時間のうち 60 時間分のソーシャルワークに関する現場実習を行う。（休日は除く）

授業計画

第１回：オリエンテーション

第２回：利用者やその関係者（家族・親族等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成について学ぶ。

第３回：利用者やその関係者（家族・親族等）との援助関係の形成について学ぶ。

第４回：利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握について学ぶ。

第５回：支援計画書の作成について学ぶ。

第６回：多職種連携及びチームアプローチについて学ぶ。

第７回：実習先の地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけについて学ぶ。

第８回：地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発について学ぶ。

第９回：施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際（チームマネジメントや人材管理の理解を含む）について学ぶ。

第１０回：社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任について学ぶ。

第１１回：ソーシャルワーク実践に求められる実践的理解について学ぶ。（アウトリーチ・ネットワーキング） 第１２回：ソーシャルワーク実践に求められる実践的理解について学ぶ。（コーディネーション・ネゴシエーション） 第１３回：ソーシャルワーク実践に求められる実践的理解について学ぶ。（ファシリテーション・プレゼンテーション・ソーシャルアクション） 第１４回：支援計画書の評価について学ぶ。 第１５回：まとめ 定期試験
教科書 　なし
参考文献 必要に応じて適宜紹介する。
学生に対する評価 評価基準の詳細については、通常の科目と異なるため別途説明する。